

「子どもたちに
ゆめのある楽しい時間を
過ごさせてあげたい!」

そんな思いを持つ大人が集まり、小さい子どもを対象に始めた読み聞かせ会。その頃の子どもたちは、もう小学校高学年になっていますが、会員は活動を続け、野津原公民館で月1回の読み聞かせ会の他、今では地区内の小学校や幼稚園、児童育成クラブ、さらには高齢者サロンでの読み聞かせなども行うようになりました。会員には子育て真っ最中のお母さんといれば、そろそろ孫育ては?というベテランお母さんもいます。当番を決めてそれぞれに活動していますが、年にひとつは大型ペープサート(絵人形劇)やOHPシアターなどを手作りして、全員で実演披露し、交流しています。

地元野津原地区で主に活動していますが、対象者に応じてどんな本を読むか、本の選び方・読み方には、いつも頭を悩ませています。読み聞かせのためにはいろんな本を借りて読む、お互いに情報交換を行う、研修会に参加するといった準備も必要です。また、野津原公民館の事業の中

でボランティアとして、3ヶ月に1回、半日をかけて県立図書館に選書にでかけ、時期に応じた本を千冊選んでいます。大変な作業ですが、自分たち自身の好奇心とボランティアの志しがバネとなっています。「子どものためにできる何か」「自分にもプラスになる何か」を求めている方が、気軽に参加できるような会でありたいと思っています。



Data

- 事務局／野津原公民館
- 会長／
縣 燐子
あかた ようこ

DV相談を受けています。

DV被害者は、本来一番安心できるはずの家庭という中で繰り返し身体や心への暴力が起きることで様々な思いを持っています。

- 例えば
- ◆夫が暴力を振るうが生活のために我慢している。
 - ◆家を出ても自分には仕事も家もなく自立していけない。
 - ◆子どものために家庭を壊してはいけない。
 - ◆反発したらますます暴力がひどくなるので怖い。
 - ◆暴力を振るわない時の夫はやさしいので愛着もある。

大分市では土日もDV相談を実施しています。

もしあなたが暴力を受けているなら一人で悩まないで相談してみませんか。



	時 間	電話番号	
土・日	午前10時～午後3時	532-1080	NPO法人えばの会
平 日	午前8時半～午後5時	534-6111(内線1075)	男女共同参画推進室

※面談もできます。またDVと同様な若いカップルの間にかかる暴力《デートDV》についても相談できます。

編 集 後 記

今年に入り、「産む機械発言」や『赤ちゃんポスト設置』問題など、何をどう考え、どうするのが適切であるかという論議が交わされているが、現時点ではまだまだ不十分。大いに不満です。大分市民の皆様はどう考えますか?

編集 田辺 薫 加来奈都子 首藤 京子
井上 順子

男女共同参画推進室

TEL.097-534-6111(内線1075) FAX.097-536-4044
メールアドレス danjokyodo@city.oita.oita.jp

◆苦情の申出への対応◆

男女共同参画についての苦情や権利侵害などの救済の申出をすることができます。

- 市が実施する男女共同参画に関する施策等への苦情。
- 男女共同参画の推進を妨げるような権利侵害に関する救済。

申出にあたっては、大分市男女平等推進委員が調査を行い、適切に処理を行います。

申出先 大分市男女共同参画推進室 TEL.537-5676